

観光まちづくり

かわら版

- 塩竈・多賀城交流会報告書 -

発行日 2018.12.26

発行
・塩竈市観光交流課
・多賀城市商工観光課

協力
・SKVメンバー
・多賀城キーパーソン会議メンバー
・(一社)チガノウラカゼコミュニティ



2018年12月11日、観光面から地域を盛り上げる塩竈・多賀城、両市のキーパーソンが集まり交流会を開催しました。会場となった多賀城市役所には、それぞれのまちの事業者、団体、市職員など、総勢24名が集まりました。

今回の交流会は、塩竈市及び多賀城市のキーパーソンが刺激し合い、高めあうことを目的とし、連携した事業展開につなげるきっかけの場となればという想いで開催しました。会のコーディネータは両市のキーパーソンとして参加しているチガノウラカゼコミュニティの津川さんが務め、終始和やかな雰囲気での意見交換を行いました。

はじめに、アイスブレイクとして「塩竈・多賀城に関するクイズ」を実施し、小・中学校数、市の面積、人口、事業所数、市の花や木などといった分かりそうで意外と難しい問題に苦戦しながらも協力して答えていました。その後は、各市の観光振興に関する取組の発表や自身のまちの魅力を再発見するワークショップを開催しました。(次のページに続く)



塩竈市・多賀城市の取組の発表

各市の観光振興に関する取組の発表をおこないました。

塩竈市

塩竈市観光振興ビジョン 策定（SKV）メンバーから

塩竈市では、平成29年度にこれからの観光事業の方向性を示す「塩竈市観光振興ビジョン」が策定されました。

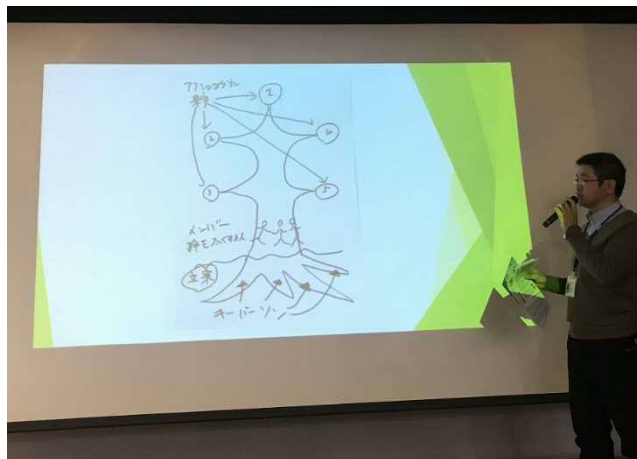
平成30年度は策定時に開催したワークショップに参加いただいたメンバーの方、及びコアメンバーの方々を中心に塩竈市観光振興ビジョン推進委員会（SKV）を開き、ビジョン推進に向けて取り組んでいます。

塩竈市の取組について発表したSKVメンバー、浦霞醸造元(株)佐浦の富谷さんは、ビジョンをアイデアの木に例えて説明しました。

「観光振興に向けた共通の理念として、未来の街に仕事を生むことが重要。キーパーソンになる方が根っことなり、木を育てていく。周りにいる人が幹を太くし、枝を増やしていき、誰が取ってもいいアイデアの実を育てていくことにより仕事の創出へ繋がっていきたい。今後は、本町通りを歩行者天国にしたイベントの実施や、商店街のホームページ作成等をおこない、魅力の発信をしていきたい。」



▲平成29年度塩竈市観光振興ビジョンWSの様子



▲アイデアの木について説明する富谷さん

多賀城市

観光振興事業に係るキー パーソン会議メンバーから

「稼ぐ体験型観光ツアー」を企画・実施しキーパーソン同士のネットワークづくり、地域で経済効果を上げる仕組みの土台づくりを行いました。



ツアー①

多賀城市の歴史を学び、特産品である古代米を食べ、古代貴族の衣装である「万葉衣装」を試着するというツアー



ツアー②

昭和の写真をテーマに多賀城・塩竈の商店街を巡り、お話を聞きながら、暮らしぶりを五感で感じるツアー



▲発表者：万葉まつり実行委員会 吉田さん



ツアー③

松島湾エリアのフォトスポットを巡り、プロカメラマンから一眼レフカメラの使い方を学ぶバスツアー（残念ながら催行に至らず…）

誉めちぎりの会

3つのグループに分かれて、お互いのまちの「良いところ」「うらやましいところ」をグループ毎に発表しました。

多賀城市 (古代米グループ)

多賀城から見た塩竈

① 海

- ・観光遊覧船 ・海産物 ・海がある
- ・遊覧船 ・海産物(市場) ・市場ある
- ・観光船がある ・島(浦戸諸島) ・港がある
- ・海がある ・魚市場があっておいしいものある

② 神社

- ・門前町 ・鹽竈神社 ・鹽竈神社の藻塩
- ・鹽竈神社の祭り ・鹽竈神社のHP(英語・中国語版)
- ・歴史的な建造物 ・元朝参りが活気ある

③ 街並み

- ・老舗のお店が多い ・地名が地図に載っている
- ・ツアーコンテンツになる素材が多種多様 ・尾島町
- ・本町通り ・行政機関がある ・人の気質が良い



④ 食

- ・寿司 ・魚が豊富 ・寿司屋多い ・酒がうまい
- ・マイ海鮮丼屋 ・スイーツがうまい ・酒蔵あり
- ・昔ながらのおいしい食事処

⑤ メディア

- ・ケーブルTV局がある ・FM局がある

多賀城市 (あやめグループ)

多賀城から見た塩竈

① 島

- ・浦戸 ・浦戸諸島 ・島々

② 神社

- ・鹽竈神社 ・有名な神社がある ・坂

③ 食

- ・カキ、ホヤなど海のもの ・魚等の魚介類
- ・港町 ・寿司 ・海産物 ・魚市場 ・魚が豊富
- ・寿司や日本酒など有名な食べ物も多い

④ 酒蔵

- ・地酒 ・酒蔵がある ・日本酒

⑤ 本町

- ・歩いて楽しめる ・電線のない風景
- ・趣のある風景、建物



⑥ 尾島町

- ・飲み屋さん多い ・昔の憧れの町 ・ぐら

⑦ 祭

- ・よしこ ・みなと祭 ・おみこし ・花火大会

⑧ 人

- ・塩竈の人は地域愛が強い ・おもしろい人が多い
- ・プレイヤーが多い

頂いた意見に対するコメント

・多賀城は駅前に人が滞在できるスポットが多く羨ましいです。塩竈はたくさんのコンテンツがありますが核となる場所がなく、これらの資源をうまく繋げられていないと感じています。いまの状況になったのは自分たち大人のせいなので、周辺の飲食店を巻き込みもう一度まちのにぎわいづくりに取り組みたいです。(矢部園茶舗 矢部さん)

・多賀城は住みやすいまちでありながら、駅の広場を活用してにぎわいが生まれていると感じています。一方、塩竈は駅前が寂しいと感じています。しかしながら、塩竈には長い歴史の中で培われた全国から人を呼ぶコンテンツ(特に食)が多いと思うのでこれらをうまく活かしていきたいです。(浦霞醸造元(株)佐浦 富谷さん)

塩竈市 (まぐろグループ)

塩竈から見た多賀城



① 歴史

- ・歴史が深い ・東北歴史博物館がすごく良い
- ・史跡のまわりを散歩できる ・史都(歴史の長さ)
- ・城跡がある ・多賀城府が置かれた歴史ある場所

② 駅

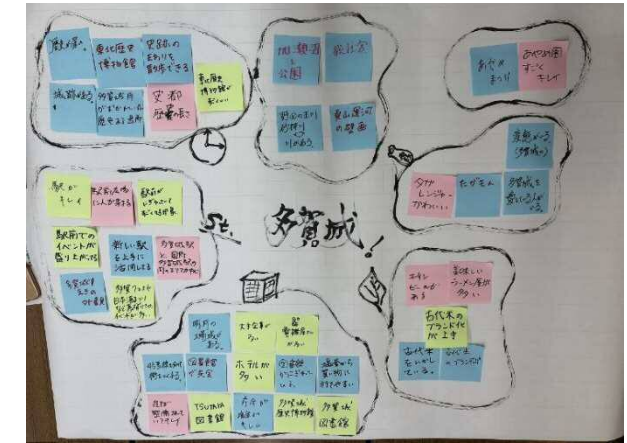
- ・駅がキレイ ・駅前広場に人が集まる
- ・駅前がにぎわっていてすごく好印象
- ・駅前でのイベントが盛り上がっている
- ・駅を上手に活用している ・多賀城駅の外観
- ・多賀城駅と国府多賀城駅間のエリアが中心
- ・多賀フェスや日本酒まつりなどのイベント多い

③ 食

- ・キリンビールがある・美味しいラーメン屋が多い
- ・古代米のブランド化が上手・古代米をいかしている

④ 人

- ・タガレンジャーかわいい ・たがもん
- ・多賀城を愛している人がいる



⑤ あやめ

- ・あやめまつり ・あやめ園すごくきれい

⑥ 施設・企業

- ・明月の工場域がある ・大手企業が多い
- ・図書館が充実 ・図書館にぎわっている
- ・45号線を分けて街をつくれる ・電機屋が多い
- ・ホテルが多い ・塩釜から買い物に行きやすい
- ・東北歴史博物館 ・街が整備されていてキレイ

⑦ その他

- ・加瀬沼と公園 ・総社宮 ・貞山運河の壁画
- ・野田の玉川、砂押川→川がある

頂いた意見に対するコメント

・多賀城駅についてたくさんのご意見をいただきましたが、多賀城駅は北口と南口に別れており、どちらが正面・中心なのか分かりにくいです。また、塩竈と比べて観光資源も少ないのでどうやって人を呼べばよいか考えています。やはり、塩釜、仙台の力を借りながら観光客を呼び込む必要があり、2市3町が連携して地域を盛り上げていければ良いです。(ホテルキャスルプラザ多賀城 鈴木さん)

参加者の感想

(所属・敬称略)

- ・多賀城の人が羨ましく思ってくれていることをコンテンツとして育てていきたい。(大沼)
- ・多賀城の方に違う視点で見てもらい、あらためて自分のまちのコンテンツの多さを感じた。(富合)
- ・あたりまえと思っていたことが羨ましがられるところに発見があった。(大江)
- ・自分のまちの良さを教えてもらい、これからも隣まちとして永くつきあっていきたい。(太田)
- ・自分が思っていた塩竈と、多賀城の方が思う塩竈とは違うことがわかった。(砂口)
- ・自分では気づかない魅力を見発することが出来た。(佐々木)
- ・やる気のある方がこんなに集まって、絶対動きが生まれると感じた。(櫻井)
- ・母ちゃんに何のために産んでもらったかを感じた。(矢部)
- ・連携が、お互いに良いもたらしがあることを実感した。(菅野)
- ・お互いを見方を交換することによってすごく刺激を受けた。(加藤)
- ・いままでも交流はあったが、さらなる交流で盛り上がってほしい。(菅野)
- ・SKV48の門前町の活動が参考になったので活かしていきたい。(芳賀)
- ・多賀城と塩竈と更に盛り上がってほしい。(鈴木)
- ・連携が塩竈・多賀城の盛り上がりにつながったら良いなあと思った。(川口)
- ・お互いのまちの魅力を知ることができた。今後のまちづくりに役立てたいと思う。(星山)
- ・塩竈の方々と交流できて刺激になった。(松村)
- ・まちはみんなで作っていくもんだということをあらためて感じた。(吉岡)
- ・塩竈と多賀城の近さを感じたので、ますます深めあって行きたい。(荒井)
- ・何かが始まるよいきっかけになった。(大内)

津川さんコメント

“褒め合う”ことは“存在を認め合う”こと。そして今回、褒め合うことで自分の魅力を再発見することが出来たのではないかと思います。褒め合うことが出来るのは、塩竈市と多賀城市の歴史的な深い関係があったからだと感じました。今回の発見を持ち帰って、まちづくり観光へ活かしていきたいと思っています。

担当者所感

- ・記念すべき第1回目の交流会でしたが、私自身、新しい発見も多く大変勉強になりました。取組背景やアプローチはそれぞれ違いますが、観光振興を目指すという目的は一緒で、今回の交流会が多賀城と塩竈のこれからの繋がるきっかけになればと思います。(塩竈市観光交流課 佐藤)
- ・今回の交流会が、地域の垣根を超え参加者同士がつながるきっかけとなれば嬉しいです。今後も「人と人」「人と地域」を『つなぐ』という意識で、皆さんとの交流し、親睦を深めていきたいと思っています。(多賀城市商工観光課 加藤)